

第2期高大連携・ものづくり公開講座

3月22日（金）10：00～16：00，創造工学センター東オープンエリア

ガラス工作コース「ガラスの不思議を体験しよう！」を開催

受講生は高校1年生1名，2年生5名（男子2名，女子4名），引率教諭は4名

参加校は，愛知県立旭丘高等学校，同半田高等学校，同明和高等学校の3校。

はじめに、安全ガイダンス受講し、ガラス使用上のキリキズやヤケド等のケガの予防と対処法の確認。午前中にフラスコ製作，理化学機器に多く利用されているホウケイ酸ガラスを材料としたフラスコの製作工程を通して，ガラス加工の基本技術（切断、熔融など）を学びました。

午後にはひずみに関する座学後に強化ガラスを用いた実験を実施，引き続きトンボ玉製作を行いました。光弾性実験では通常見ることができないガラス内部の歪みを，午前中に自作したフラスコから観察することで，ガラスや光の特性を学びました。トンボ玉製作では最初に『トンボ玉の基礎講座』と題して，トンボ玉の簡単な歴史，製作方法を動画で受講後，自分の作りたい模様チャレンジしました。この講座はガラスの加工，実験を通じてその特性を理解するとともに，実技でのきめ細かな補助により，受講生が楽しく『ものづくり』をすることができる講座内容となっています。

アンケート結果を見ると，全員がこの講座が期待以上だったとしており，自分のペースで，分かる・出来る範囲でものづくりを楽しめました，今後もこのような少人数講座をやってほしいなどの感想を得ました。

